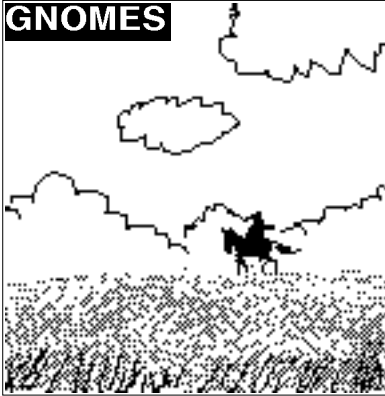


ノーム通信84 2003-6

〒130 0026 東京都墨田区両国4-30-4-1109

GNOMES



5月の台風を山頂の岩の間で吹き飛ばされそうになって迎えてから雨の日が続き、ようやくすっきり晴れた朝、気温はどんどん高くなってきそうな気配だが湿気がなくさわやかな風が流れている。自転車に乗ったら急にモンゴルの朝の草原を思い出してしまった。目の前に馬が片足で地を蹴りながら草原の爽やかさに気負い立って首を上下に振り荒い息を吐く。朝露に濡れた草を感じながらしっかりとたてがみと手綱を一緒につかんであぶみに足をかけると馬具の皮の匂いや金具の擦れ合う音に包まれて動き回る馬の背によいしょっと乗る。とたんに草原の広さが何倍にもなって視界が広がり、乾いたあたたか

い風にワッと包まれる。草原全体にハーブの香りに満ちた風が渡っている。頭をあげると大きく深呼吸をした。鞭をうけとりゆっくり「チョー、チョー。」と広い世界へ歩みだしていった。そんなことが目の前にあるように細かく鮮明に思い出されたが、本当はくたびれたママチャリにまたがって、よいしょと朝の通勤1時間に踏み出したところだ。しかし考えてみたらあの時とほとんど同じかこうをしている。ザックも帽子もあの時吹き飛ばされないように顎ひもをつけたままだし、馬の汗をたくさん吸ったジーンズもそのままだ。風さえ、きっとこんな爽やかなのだからモンゴルの草原につながっているはずだ。今頃は一番穏やかな季節のはずだしナーダムの祭りでは子供達が馬で疾走しているだろう。

そんな思いで気分良く事務所に着いて、「さーて今月はどうやったらのりきれるかなー。どっかで借金をしないとどーにもならんなー。」などと考えていたら本当に久しぶりの仕事の電話で、「急ぎだけどやってくれる。」というので「何でもやります。すぐやります。」と中身も聞かずにひきうけた。ということで3日後には4人のお客さんに囲まれて熊本城のお濠端をうろうろしてきました。何年か皇居をやっていたから気持ちは楽でしたが何十年ぶりの熊本城は新鮮でした。しかし今頃お城ばかりやっているのは時代遅れだなーとも思いますがそういう流れに乗ったまでのことで、本当はデザイン全般が自分の仕事ですから否も応もない。名刺から飲み屋のチラシ、パンフレットから橋の設計、児童公園から市営霊園までの各種景観設計、排水溝や高速道路の調査までなんでもやるが、しかし、もーからんなー。こういう時はじたばたしてもしかたないのかも知れない。こういう時は千住のじーさんをはじめにいくのが一番良いのかも知れないが、歯の治療中で「酒など飲まない爽やかさが実に良い。」などと心にもないことをほざいているくらいだからなんだかつまらないしなー。まあ、今月も少しずつ復活していくようにゆっくりゆっくり進んでいます。

7月は19日にまなざしの編集を行います。子供達の作文に絵を付ける人が減ってきていますのでそろそろ捜し始めようかと考えています。

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03-5600-0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com